

保 護 者 の 願 い

近年、AIなど情報技術の進歩やグローバル化、少子高齢化が加速しており、子供たちが直面する未来は、今とは大きく異なる社会であることが予測されます。こうした社会においても、子供たちが将来安心して生きていくことができるることを、私たち保護者は、第一に願っています。

私立中学高等学校では、それぞれ特色ある先駆的な教育が実践され、そこで学ぶ子供たちは幅広い学びを通して知識の習得だけではなく、柔軟な思考力と人間力を養いつつ、先生や友人から大きな影響を受けながら日々成長しています。

私たち保護者は、子供たちの学びの場がより良い教育環境となることを望んでいますが、教員のなり手不足や近年の猛暑や自然災害に対応した施設設備の整備など課題は様々です。

また、私立高等学校では、同じ学校においても、居住地により、授業料の支援を受けられる子と受けられない子がおり、大きな不公平感を生んでいます。保護者の負担軽減を目的とした「いわゆる高校無償化」の実現により、こうした格差が是正され、私立高等学校に通う子供たちへの就学支援が充実されることは、私たち保護者にとっても、期待が大きいところです。

ただし、就学支援の拡充によって私学教育の質の低下につながることがあってはならず、そのためにも国や都道府県において、私学助成のより一層の拡充が必要不可欠です。

私たち保護者は、私学の「建学の精神」に基づく特色ある教育方針に賛同し、子供たちを学ばせています。家庭の経済状況や居住地によらず、子供たちが自由に学校を選択し、自らが望んだ教育を受けて欲しいというのが、私たち保護者の切なる願いです。

国会議員の先生方におかれましては、私立中学高等学校の教育環境の一層の充実と、保護者の経済的負担の軽減を目指し、ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

令和7年11月5日

令和7年度私学振興全国大会 保護者代表

東京都私立中学高等学校父母の会中央連合会 倉片 なお子